

## テーマ きのみ

しよめい	ちよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
りんごのき	エドアルド・ペチシカ／ぶん ヘレナ・ズマトリーコバー／え うちだ りさこ／やく	福音館書店	SIホン	ふゆのひ、マルチンは、りんごのきにいつみになるのか、といかけます。はるに、きにくすりをまくと、なつになって、みことができました。おおきくなって、あらしがきてもおちなかつたりんごは、あきにあかくなりました。マルチンはようやくりんごをつかまえます。
もりのふゆじたく	たるいし まこ／さく	福音館書店	SIホン	あきになりました。もりは、きのみがいっぱい。どうぶつたちは、ふゆのあいたのたべものあつめです。たぬきは、みんなのきのみひろいをてつだってばかり。もうかえるじかんなのに、じぶんのふくろはからっぽです。しかたなくうちへかえると、みんなからのプレゼントが。
どんぐりかいぎ	こうや すすむ／文 片山 健／絵	福音館書店	Iホン/カ	どんぐりをひろったこと、あるよね。でもこのどんぐりも、たくさんできるとして、すこししかできないとしが、かわりばんこであるのです。これは、どんぐりのきたちが、かいぎをしてきめたことです。どうしてこんなことをきめたのかな？それはね…。
びっくりまつぼっくり	多田 多恵子／ぶん 堀川 理万子／え	福音館書店	Iホン/ホ	みちをあるいているとまつぼっくりを見つけました。あっちにも、こっちにもおちているよ。まつぼっくりをよくみると、ふしぎなかたちしています。そして、まつぼっくりは、あることをすると、しょんぼりしたり、はりきったりします。どうするのかな？
ざぼんじいさんのかきのき	すとう あさえ／文 織茂 恭子／絵	岩崎書店	Iホン/オ	ざぼんじいさんはあまいかきのみを、いつもひとりじめにして、むしゃむしゃたべています。となりにこしてきたまあばあさんは、かきのへた、はっぱ、えだしかもらえません。でも、まあばあさんはいつもうれしそうにもってかえます。そのわけは…。
どんぐりぼうやのぼうけん	エルサ・ベスコフ／さく・え 石井 登志子／やく	童話館出版	Iホン/へ	どんぐりのぼうやが、あらしにとばされて、もりのこびとのせんたくやのうえにおちました。せんたくものをよごしたふたりは、もりじゅうのいえにせんたくものはこぼされることになりました。おかあさんは、いなくなったぼうやがしんぱいです。そこで、りすのスバンスがもりへさがしにでかけました。